

## 青森県私立高校生震災復興・創生社会貢献活動、学習報告会

令和元年11月9日・12月10日

青森県の事業として6年前から行われているこの活動に今年も取り組みました。震災から8年半が経過し、日々の生活の中で震災の記憶が風化しないよう、そして、被災地の復興状況や抱える課題について、住民のさんと交流を図りながら、学習活動を行ってきました。



岩手県山田町(死者824人、行方不明者100人以上)での活動も今年で5度目となり、住民の皆さんにも少しずつ知られるようになってきました。

今回が2回目となる大浦地区での活動内容は、調理科生徒によるせんべい汁の共同調理、看護科生徒による血圧測定やハンドマッサージ、総合ビジネス科生徒による記念写真入り写真立てのプレゼント、一般参加生徒による柿や栗など、秋にちなんだ立体折り紙づくりなどでした。



その後の学習会では、地元商店街の語り部ガイドさんと一緒に被災現場を回り、震災当時の体験や教訓、復興の現状などを学びました。現地でなければ聞けない貴重な体験となりました。



また、帰校後、全校生徒への学習報告会も行いました。  
被災地の復興が進むにつれて浮き彫りになってきた課題は、震災によりばらばらになった地域のコミュニティの再形成です。私たちの活動が、コミュニティの再形成に少しでもお役に立てたことを大変うれしく思います。  
住民の皆さんの笑顔に私たちも元気づけられました。

大浦の皆さん、温かく迎えていただき、ありがとうございました。

